

『大』キヤッチ プレス

Matsubara Daisuke Seto City Report

松原大介

瀬戸市議会議員



2020年1月発行

謹賀新年 Vol.02

■建物について

R1年12月中に大半の工事が完了し、R2年2月1日に竣工式を迎えます。ただし、開校後に、祖東中学校の解体工事。その後（冬頃から）メイングラウンドとサブグラウンドの造成工事に入る予定です。

■通学について

ご存知の通り、通学方法等の決定が遅れたため、急ピッチで準備が進められております。通学路の整備は開校までに、また祖母懐公民館横のバス停の工事については完了しています。通学班の編成や、乗車するバス時間の設定、見守り体制など、現場の先生方を中心に進められています。2月19日にはバス通学を含む登下校練習を行います。

■教職員体制について

1 2月定例会一般質問で取り上げました。開校後数年は、教職員の負担増が懸念されます。県費負担教職員（いわゆる学校の先生）のみならず、一定の市費による加配等の体制強化が必要と考えます。詳しくは、Youtube「瀬戸市議会 令和元年12/4 本会議 ⑤」右のQRコードからご覧ください。



にじの丘学園は、R2年4月に開校されます。地域子どもたちは、まもなくにじの丘学園へ通い始めます。子どもは地域の宝です。子どもたちにとって、少しでもよい学校になるよう全力で取り組んでいきます。どうか皆様もご協力よろしくお願ひします。



あと少し！準備状況は？
にじの丘学園開校まで

第1回しゃべくり広場へのご参加 ありがとうございました！

去る11月22日（金）第1回しゃべくり広場を開催いたしました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。

万事お忙しい中、若いママや、市外から転入された方もいらっしゃいました。また、様々な連区からもご参加いただきました。

当日は、クイズ番組のように小さい（A4）ホワイトボードを皆様にお持ちいただき、それぞれの考えを話し合っていました。世代の違い、地域の違いを各々感じながら、様々な価値観を共有できたかと思えます。

この活動は今後も続けていきます。次回開催は4～5月頃を予定しております。詳細が決まり次第お知らせさせていただきます。

松原大介の一般質問

○本市における小中一貫教育の現況と今後の展開について

（1）市内小中学校における教育の公平性という観点から同じ小中一貫教育でも、施設一体型（にじの丘）と施設分離型では、運用が異なる。施設分離型の課題は何か。教育の公平性という観点において重視すべきは何か。



（2）公立小中学校の独自性という観点から各校地域性に富んだ様々な試みがされているが、小中一貫教育に関して、学校の裁量はどの程度あるか。本市の教育行政は、学習指導要領に基づいた一定の公平性を維持しながら、各地域の独自性を活かした教育活動を推進することが重要と考える。小中一貫教育の展開においては、本市が掲げる方針のもと、各校の地域性への配慮、学校意思の尊重を持って進めるべきと考えるが見解を伺う。

（まとめ）本市の教育の主役は何でしょうか。小中一貫教育でしょうか。行政でしょうか。教職員でしょうか。いいえ、教育の主役は「子ども」です。それ以外ありません。教育行政においては、俯瞰（ふかん）して物事を見る力も必要ですが、子どもの目の高さまで我々大人が腰を落として見ることも大切です。そうすれば自ずと、我々が今やるべきこと、これからやるべきことが見えてくるはずです。

答弁要約

施設分離型は、小学校と中学校の間に、物理的な距離があり、乗り入れ授業や交流時の移動に課題がある。教育の公平性で重視すべきは、自ら考え生き抜く力を育てていくこと。瀬戸の子どもたちが瀬戸で学んでよかったと実感すること。

中学校ブロックごとの教育目標の共有や、教職員の交流などを行うことにより、学習活動や指導に一貫性を持たせ、9年間を見据えた切れ目のない教育実践により、個々に応じた指導や成長の見守りを行っていく。また、これまで実践してきた各校の教育内容を尊重し、それぞれの地域の伝統や文化などの特色を活かした教育活動を推進していく。



Instagram始めました！

MATSUBARA.
DAISUKE3153

松原大介応援クラブ

〒489-0055 愛知県瀬戸市滝之湯町24-1

TEL : 0561-76-3153

Email : d.matsubara3153@gmail.com

Instagram



facebook



松原大介応援クラブ
ホームページ

